

◇著者紹介 執筆順（*は編者，①所属，②主要論文・著書）

*山中 亜紀（やまなか あき）

1章

①九州大学大学院法学研究院協力研究員

②「アメリカにおける国民統合の振り子—上院包括的移民制度改革法案を手がかりとして」杉田米行編著『アメリカ・アジア太平洋地域研究叢書第3巻—グローバリゼーションとアメリカ・アジア太平洋地域』大学教育出版，2009年

「ライマン・ビーチャーのネイティヴィズム—信仰復興と教育による国民統合」『アメリカ研究』40号，2006年

「『ネイティヴィズムの再燃』論争をめぐる—多文化社会の『ナショナル・アイデンティティ』」『法政研究』72巻2号，2005年

大井 由紀（おおい ゆき）

2・11章

①南山大学外国語学部准教授

②「定期的蒸気船の太平洋航路開設とアジア—アメリカの『接触領域』の形成」杉田米行編著『アジア太平洋地域の政治・社会・国際関係—歴史的発展と今後の展望』明石書店，2018年

Chapter 1: Borders of “American Citizens” Created in a More Globalized World: The Significance of the Transpacific Steamship Route for Asian Immigration to the United States in the Late 19th Century. In. Y. Sugita ed., *Japan Viewed from Interdisciplinary Perspectives: History and Prospects*. Lexington Books, 2015

「帝国の『触手』としての蒸気船—太平洋航路がアジア・アメリカに意味するもの」杉田米行編『第二次世界大戦の遺産—アメリカ合衆国』大学教育出版，2015年

宮内 紀子（みやうち のりこ）

3章

①九州産業大学基礎教育センター講師

②「選挙権にみる国家と個人のつながりの多様性—イギリスの国籍法と国民代表法との関係から」『法と政治』69巻1号，2018年

「国籍とはなにか」片桐直人・岡田順太・松尾陽編『憲法のこれから』日本評論社，2017年

「連合王国における在外投票権と居住を通じた実体的構成員性について」『九州産業大学基礎教育センター研究紀要』6号，2016年

朴 沙羅（ぱく さら）

4章

①神戸大学大学院国際文化学研究所講師

②『家の歴史を書く』筑摩書房，2018年

「外国人をつくりだす—戦後日本における「密航」と入国管理制度の運用」ナカニシヤ出版，2017年

加野 泉（かの いずみ）

5章

①名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター特任准教授

②「承認される文化の境界線—アメリカ・ヘッドスタートの多文化主義」『社会文化研究』19号，2017年

「男性問題から見る現代日本社会」（共編著）はるか書房，2016年

團 康晃 (だん やすあき)

6章

①大阪経済大学人間科学部講師

②「『嗜好品』が『趣味』と結びつくとき—明治期における衛生学および勤業、PR誌のテキスト実践を事例に」『年報社会学論集』30号, 2017年

「『おたく』の概念分析—雑誌における『おたく』の使用の初期事例に着目して」北田暁大・解体研編著『社会にとって趣味とは何か—文化社会学の方法規準』河出書房新社, 2017年

「書きかわる慰安の動線—特需佐世保における『輪タク』と行政の相互作用を事例に」『年報社会学論集』28号, 2015年

佐々木てる (ささき てる)

7章

①青森公立大学経営経済学部教授

②「複数国籍容認にむけて—現代日本における重国籍者へのパッシングの社会的背景」『移民政策研究』11号, 2019年 (近刊)

「保守化する時代と重国籍制度—ナショナル・アイデンティティから見る現代日本社会の国籍観」『エトランデュテ (在日本法律家協会会報)』2号, 2018年

『マルチ・エスニック・ジャパニーズ—〇〇系日本人の変革力』(編著) 明石書店, 2016年

永田 貴聖 (ながた あつまさ)

8章

①国立民族学博物館人類基礎理論研究部外来研究員

②「宗教関係施設を通じたフィリピン人移住者たちのネットワーク—京都市・希望の家を事例に」高橋典史・白波瀬達也・星野壮編著『現代日本の宗教と多文化共生—移民と地域社会の関係性を探る』明石書店, 2018年

「『韓国』を消費するだけではない日本人の存在—政治的な日韓関係を越える関係についての試論」『生存学』9号, 2016年

『トランスナショナル・フィリピン人の民族誌』ナカニシヤ出版, 2011年

ジョハンナ・ズルエタ (Johanna Zulueta)

9章

①創価大学国際教養学部准教授

②*Thinking Beyond the State: Migration, Integration, and Citizenship in Japan and the Philippines*. (Ed.), De La Salle University Publishing House and Sussex Academic Press, 2018

The Occupying Other: Third-Country Nationals and the U.S. Bases in Okinawa. In P. Iacobelli and H. Matsuda eds., *Rethinking Postwar Okinawa: Beyond American Occupation*. Lexington Books, 2017

An Invisible Minority? Return Migration and Ethnicity in Okinawa. *Social Identities: Journal for the Study of Race, Nation, and Culture*, 23 (5), 2017

柏崎千佳子 (かしわざき ちかこ)

10章

①慶應義塾大学経済学部教授

②「自治体による多文化共生推進の課題」『なぜ今、移民問題か』別冊「環」20号, 2014年

Incorporating Immigrants as Foreigners: Multicultural Politics in Japan. *Citizenship Studies*, 17 (1), 2013

The Foreigner Category for Koreans in Japan: Opportunities and constraints. In S.

Ryang and J. Lie eds., *Diaspora without Homeland: Being Korean in Japan*.
University of California Press, 2009

*大賀 哲 (おおが とおる)

11章

- ①九州大学大学院法学研究院准教授
- ②『東アジアにおける国家と市民社会—地域主義の設計・協働・競合』柏書房, 2013年
- 『北東アジアの市民社会—投企と紐帯』(編著) 国際書院, 2013年
- 『国際社会の意義と限界—理論・思想・歴史』(共編著) 国際書院, 2008年

*蓮見 二郎 (はすみ じろう)

- ①九州大学大学院法学研究院准教授
- ②「徳論なき市民的共和主義は可能か?—ジェフリー・ヒンクリフのシティズンシップ教育論」関口正司編『政治リテラシーを考える—市民教育の政治思想』風行社, 2019年
- 「イングランドにおける政治教育—市民教育の現状と課題」『政治思想研究』第15号, 2015年
- 「政治腐敗」古賀敬太編『政治概念の歴史的展開 第六巻』晃陽書房, 2013年